

タックス

令和6年4月1日発行 第113号

春の農作業安全確認運動実施中！

4月1日から5月31日は、春の農作業安全確認運動の実施期間です。安全確認を徹底し事故防止に努めましょう。
(今年のスローガン)
『大丈夫』その思い込みに
気を付けて」



R6年産米に向けての栽培技術について

近年、高温登熟が原因の品質・収量低下が続いており、昨年は災害レベルの高温と湯水の被害にありました。常態化する異常気象下では、「高温障害リスクの増大」や「初期生育不良による中干しの遅れ」、「後期栄養凋落」など品質・収量低下に繋がりがやすい傾向にあり、細やかな管理を徹底していく必要があります。JAでは、様々な登熟障害防止対策の実証をすすめてまいります。地域全体で力を合わせて、品質向上・収量確保を目指しましょう。

土づくりの実践

◎気象変動に強い、稲の登熟する能力を向上

- ①堆肥・土づくり資材・籾殻の施用
 - ・堆肥は肥料効果、物理性の改善、土壌の保肥力の向上効果があります。
 - ・土づくり資材は土壌養分の不足を解消します。
- ②深耕による根域の確保(作土深15cmを目標)
 - ・作土層を深くすると根が深く張りフェーンや干ばつなどの気象災害を受けにくくなります。



初期生育の促進と適期中干しの実施

◎コシヒカリスケールの活用で適期中干し

- ①播種・移植時期の適正化
 - ・早期活着と下位分けつ確保のため、適期播種により規格苗移植を徹底しましょう。
- ②確実な穂肥施用と根の健全化
 - ・適正な中干し(開始時期、中干の程度、終了時期)により確実な穂肥の施用と根の活動深度、根量の増加、根の活力維持ができます。深耕と同様、適正な中干しで根が深く張りフェーンや干ばつなどの気象災害を受けにくくなります。

後期栄養の維持

◎地力の向上、穂肥の追加、適正管理による根の機能向上

- ①地力の向上
 - ・「有機質施用」は地力の下支えとしての効果を期待できます。春に元肥で施用することもできますので場の状況に応じて対応しましょう。
- ②穂肥の追加
 - ・確実に葉色診断を実施し、高温が予想され、出穂期頃の葉色が目安を下回る可能性がある場合は、出穂期3日前の追肥を検討しましょう。
- ③根の機能向上
 - ・ワキの発生(強還元)、浅耕、田植え時の深植え、苗質不良では根量不足になり根の機能が低下してまいります。基本技術を確実に実施しましょう。
 - 根の機能が向上すると給水能力が高まり光合成量が増加します。ケイ酸資材の施用は根の水分吸収が活発になることで葉面温度が上昇しにくくなり登熟が向上します。

資金繰り表をつくってみましょう

資金繰り表とは

1年間の月単位で現金・預金の収入や支出をまとめ、お金の流れを集計したものです。

農業は毎月決まった収入がないため、現金・預金が不足するなど見える化することで経営改善や借入れの計画などが把握できます。

【作成方法と見かた】

- ①月別の残高試算表や通帳などお金の流れがわかるものを準備します。
- ②下記の表を参考に勘定科目ごと月別に集計します。
- ③月ごとの収入と支出を差引くことでお金の流れを把握します。下記表では4月から8月にかけて資金が不足するため借入れなど準備が必要です。

資金繰り表(参考)

勘定科目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高 米穀	0	9,000	9,000	9,000	18,000	49,662	49,662	49,662	6,433,524	9,210,864	9,219,864	9,311,264
作業委託収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	400,000	400,000
雑収入	462,500	1,270,886	2,124,717	2,471,297	2,473,207	2,473,207	3,173,520	3,173,520	3,310,520	3,392,578	3,692,578	7,008,678
収入計①	462,500	1,279,886	2,133,717	2,480,297	2,491,207	2,522,869	3,223,182	3,223,182	9,744,044	12,603,442	13,312,442	16,719,942
種 苗 費	0	0	0	0	0	1,244,044	1,244,044	1,244,044	1,244,044	1,244,044	1,244,044	1,257,946
肥 料 費	0	416,432	416,432	471,686	511,066	511,066	676,193	1,615,303	1,615,303	1,615,303	1,563,454	1,566,794
農 薬 費	0	0	3,956	713,134	804,548	1,083,982	1,368,856	1,486,039	1,486,039	1,486,039	1,469,955	1,532,844
諸 材 料 費	40,921	69,017	244,177	427,828	441,622	446,831	446,831	495,847	555,141	564,117	630,470	648,354
雇 人 費	0	0	0	0	109,650	371,050	429,450	456,125	484,825	484,825	657,025	657,025
作業委託費	0	0	0	0	0	0	0	34,276	34,276	34,276	34,276	56,802
作業用衣料費	1,980	28,758	39,758	43,390	76,548	85,860	122,362	126,938	136,983	139,159	153,910	201,273
動力光熱費	102,575	186,719	265,531	389,993	575,969	700,125	786,312	875,424	1,200,871	1,376,578	1,432,122	1,800,245
農 具 費	28,060	32,340	141,350	235,092	267,503	269,499	404,278	411,114	556,143	592,127	645,295	676,523
修 繕 費	9,963	9,963	55,481	89,185	179,931	191,551	244,573	422,467	501,191	596,591	639,409	757,909
土地改良水利費	0	0	0	0	0	315,659	325,225	325,225	414,582	414,582	914,816	914,816
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
共済 掛金	0	125,660	125,660	125,660	125,660	125,660	160,261	173,253	173,253	173,253	173,253	173,253
租税 公課	0	19,000	19,000	19,000	54,400	54,400	54,400	73,400	73,400	73,400	81,500	100,500
支払 地代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,202,333	1,349,408	1,349,408
貸 借 料	3,630	3,630	3,630	3,630	3,630	14,630	14,630	14,630	14,630	14,630	14,630	32,714
荷造 運賃	0	670	670	3,360	5,418	5,418	5,418	7,596	201,532	309,576	320,026	344,026
販売手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	36,075	65,894	65,894	65,894
支払手数料	0	0	121,000	121,000	121,000	149,264	149,264	151,760	151,760	151,760	156,896	156,896
委託販売手数料 軽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	151,379
事務通信費	9,659	4,549	28,883	53,266	87,965	104,373	127,657	157,586	194,978	224,950	251,407	282,851
図書研修費	2,823	10,139	21,539	47,839	47,839	47,839	47,839	49,699	49,699	49,699	58,539	68,621
支払保険料	0	0	0	0	0	0	0	1,880	1,880	1,880	1,880	1,880
会費・研修金	0	0	1,000	1,000	4,000	4,000	0	0	0	45,098	45,098	45,448
雑 費	0	11,000	11,000	12,628	12,628	12,628	0	0	48,188	52,362	133,034	133,034
販売費一般管理費計	12,282	26,358	184,092	239,213	278,970	323,622	323,622	323,622	417,949	688,112	897,045	1,250,129
支出計②	198,411	917,877	1,499,467	2,757,812	3,428,515	5,757,927	8,623,321	8,174,084	9,260,793	11,410,536	11,955,870	12,776,536
収入①-支出②	264,089	362,009	634,250	-277,515	-937,308	-3,235,110	-3,400,139	-4,950,852	483,251	1,192,906	1,356,572	3,943,406

現金・預金が不足しています

もしもの備えに労災保険の加入をお勧めします

個人の農業者も労災保険特別加入制度により、一定の要件のもと加入できます。法人・任意組織の場合も加入できます。労災保険は農作業中の事故について、療養給付・休業給付補償など負傷の程度に応じ補償されます。

◎年間保険料の目安(掛捨て)

特別加入の場合、日額 3,500 円～20,000 円から選択します

(日額 10,000 円の場合)

特定農作業従事者 36,500 円 ・ 指定農業機械従事者 14,600 円

特定農作業従事者は面積要件(2ha 以上)、指定農業機械従事者は特定の機械での事故が補償対象となります。法人の代表者や雇用の場合など詳しくはお問い合わせください。



いよいよ春作業が始まります。

能登半島地震の影響も予想されますので作業計画、機械の点検整備、用水路の点検など事前準備が肝心です。



担い手通信(タックス)発行元・お問い合わせ先
JAえちご上越 営農部 農業対策課(経営サポート)
TEL 025-527-2035
FAX 025-527-2019
Eメール j.nougyosupport@ja-ej.com
ホームページ <https://www.ja-echigojoetsu.or.jp/>